

キーワード	精神障害	学習支援	子ども	活動地域	福岡県
事業名	障がいがある学生・児童への学習支援事業				
事業年度	平成 25 年度	助成金額	2,387 千円		
団体名	特定非営利活動法人 障がい者相互支援センターMCP				
所在地	〒818-0136 福岡県太宰府市長浦台 2-2-1 MAIL : mcp_jimukyoku@yahoo.co.jp				
団体HP	http://mcp2012.web.fc2.com/index.html				

事業の背景

- ◆小学校低学年までは生活に特化した言語のみで学習等やコミュニケーションを行うことができますが、それ以降は「抽象・具体・構文」という言語構想が必要だと言われています。しかし、約半数の聴覚障害児は、この壁を越えることができていません。筆談による会話も、この言語構想が必要であるため、進学や社会に出ても、円滑なコミュニケーションがとれず孤立するケースがみられています。
- ◆大学や短大などの高等教育機関に進学しても、聴覚障害者が学びやすい環境整備に取り組んでいる学校はまだ少なく、講義内容が聞こえない聴覚障害学生は「学び」を進めることが困難です。

事業の概要

- ◆聴覚障害児等の学習進度をみながら、手話と口話、筆談を用いながら、書記日本語(いわゆる読み書きのための日本語)等の学習指導を行いました。聴覚障害者が苦手となりがちな助詞や敬語の使い方、読解力等の「日本語力」があがり、高等教育機関進学に結びついたという成果をあげることができました。
- ◆また、大学で学習困難に陥っている障害者(特に聴覚障害者)を支援するための支援者養成講座にも取り組みました。聞こえない世界の体験等を行い支援の必要性・障害に対する理解を深めるための講座や、ノートテイクやパソコンテイク等の具体的な支援の方法にかかる実技等を指導しました。

活動報告書
<クリック!>

ここに注目!

- ☞聴覚障害児等の学習支援は、一般の学習塾や家庭教師では対応しづらいものであり、「進学」という成果だけではなく、今後の社会生活におけるコミュニケーション力の習得にも寄与し、孤立防止につながる活動でした。
- ☞ノートテイク・パソコンテイク養成講座では、講座を受けた学生から「来年度も定期開催をしてほしい」という声があがり、ボランティアセンターにおいて講座の継続が決められました。聴覚障害者の入学が決まった大学では、講座に参加した21人全員が、学内の支援団体に加入し、聴覚障害者の学生生活を支援することになりました。